

■ 2009年度 入試問題分析シート ■

大阪大学 人間科学・法学部・経済学部

前期日程

科目

国語(古文)

| | | | | | |
|------|-----|--------|--|-----|--------------|
| 試験時間 | 90分 | 満点(配点) | 人間科学 200点、外国語・経済C 100点、 法 150点、経済A 20点、経済B 180点 | 出題数 | 現代文 2題 古文 1題 |
|------|-----|--------|--|-----|--------------|

総括

| | | | |
|----------|----|-----|----|
| 難易度(昨年比) | 難化 | 昨年並 | 易化 |
| 分量(昨年比) | 増加 | 昨年並 | 減少 |

〈総論〉

評論文の読解が大切であった。現代語訳と理由説明の2種類。

〈特記事項・トピックス〉

掲載歌の語法に難解な部分があった。

〈合格への学習対策〉

内容の正しい理解と、問題文中の該当箇所を意識した解答作りを心がける。

問題分析(本文)

| 問題番号 | 類別(ジャンル) | 出典(著者) | コメント(特徴・出題頻度など) | 本文のレベル |
|------|----------|-----------|--------------------------------|--------|
| Ⅲ | 歌論 | 俊頼髓脳(源俊頼) | 受験では頻出の歌論で、和歌の解説としては内容は読み易かった。 | 標準 |

設問分析

| 問題番号 | 設問番号 | 設問形式 | 設問内容(特徴・解答上のポイントなど) | 設問のレベル |
|------|------|------|-----------------------------|--------|
| Ⅲ | 問一 | 記述 | 理由説明(70字の字数制限)。解説文の前半をまとめる。 | 標準 |
| | 問二 | 記述 | 現代語訳 | 標準 |
| | 問三 | 記述 | 理由説明(70字の字数制限)。解説文の後半をまとめる。 | 標準 |
| | 問四 | 記述 | 和歌の現代語訳 | やや難 |

「本文のレベル」と「設問のレベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。